

第七十九回
帝國議會
貴族院

船舶保護法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

船舶保護法中改正法律案(政)
小形船舶乘組員手帳法案(政)

委員氏名

委員長 公爵山縣 有道君
副委員長 子爵立花 種忠君

侯爵久我 通顯君
子爵波多野二郎君
大橋 八郎君
男爵中村 謙一君
三浦 新七君
熊谷三太郎君
小野 耕一君

昭和十七年一月二十三日(金曜日)午前十時十九分開會

○委員長(公爵山縣有道君) ソレデハ只今カラ船舶保護法中改正法律案外一件ノ特別委員會ヲ開キマス、先ヅ最初ニ政府ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(澤本賴雄君) 政府委員カラ御説明申上ゲマス、只今上程セラレマシタ船舶保護法中改正法律案提案ノ理由ニ付キマシテハ、曩ニ本會議ニ於テ海軍大臣ヨリ大體ノコトヲ申述ベラレタノデアリマスガ、本委員會ガ開カレリニ當リマシテ、少シク詳細ニ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、戰時事變又ハ其ノ他ノ場合ニ於キマシテ、船舶ノ軍事の危害ニ對スル保護ハ海軍ノ任務デアリマス、之ガ爲、海軍大臣ハ平時ヨリ船舶ノ設備又ハ船舶乘組員ノ整備ニ關シ必

要ナル指示ヲ爲シ得ルコトト相成ッテ居ルノデゴザイマス、然ル處今回逋信省管船局ガ改組セラレマシテ、新タニ外局トシテ海務院ノ設置ヲ見ルコトナリ、其ノ機構頗ル擴大強化セラレルニ至リマシタノミナラズ、職員中所需ノ位置ニ海軍現役士官ヲ配員セラルコトトナリマシタノデ、船舶保護上平時ヨリ準備セシムベキ事項ノ一部ヲ海務院長官ヲシテ處理セシムルヲ適當トスルコトトナツタノデゴザイマス、改正ノ點ヲ申シマスレバ、海軍大臣ハ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リマシテ第三條第一項ニ規定スル船舶ノ設備又ハ乘組員ノ整備ニ關スル指示及第四條第二項ニ規定スル報告又ハ臨檢検査ノ職權ノ一部ヲ海務院長官ヲシテ行ハシメ得ルコトト致シタノデゴザイマス、以上ノ如ク船舶保護法ニ改正ヲ加ヘマスコトトナリマスレバ、船舶ノ一般施設等ト共ニ是等ト關聯ヲ有スル船舶保護法ニ依ル業務ハ概ネ海務院長官ニ於テ處理スルコトトナリ、從ッテ指示ノ錯雜ヲ避ケ業者ノ利便ヲ大ナラシメ得マス共ニ速カニ海運國防態勢ノ完成ヲ期シ得ルモノト信ジテ居ルノデゴザイマス、以上ヲ以チマシテ本案ノ説明ヲ終リマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ御願ヒ致ス次第デゴザイマス

○委員長(公爵山縣有道君) ソレデハ引續キマシテ逋信省ノ政府委員ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(原清君) 小形船舶乘組員手帳法案提案ニ對シマシテ御説明ヲ申上ゲマス、

大東亞經濟圈ノ確立ニ必須デアリマス海上物資輸送ノ完遂ヲ圖ル爲ニハ船舶乘組員ノ確保並ニ整備ヲ必要トスルノデアリマスガ、之ガ爲ニハ船員ノ就業狀況ヲ明確ナラシメ移動防止其ノ他ノ勞務規制ヲ強化セナケレバナラスノデアリマス、曩ニ政府ハ閣議ニ於テ海運管理要綱ヲ決定シ、一定範圍ノ船員ヲ徵用スルノ強度ナル方途ヲ採用スルコトト致シマシタガ、徵用サレナイ船員ニ付テモ船員法ノ適用ヲ受クル者ニ關シテハ船員手帳制度ガアリマシテ、勞務規制ノ基礎ハ十分整備サレテ居ルノデアリマス、然ルニ二十「トン」未滿ノ船舶乘組員其ノ他船員法ノ適用ヲ受ケナイ船員ハ海上勞務ノ貴重ナル資源タルニモ拘ラズ手帳制度ガ完備シテ居ナイ爲、使用統制其ノ他勞務規制運用ハ極メテ困難ナル現況デアリマス、茲ヲ以テ之ニ船員手帳ヲ受有セシメ、其ノ就業狀況ヲ明カニ移動ヲ規制スル共ニ、必要アル場合ニ於テハ徵用船員ノ不斷ノ補充源タラシムル基礎ヲ整備スルコトガ極メテ緊要デアリマス、此ノ故ヲ以テ本法案ヲ提出シタ次第デアリマス、是ハ大臣カラ御説明ニナツタ所デアリマスガ、本法案ニ於キマシテハ實質の規定ハ要綱ノ第一乃至第四ト申シテ差支ナイノデアリマスガ、是等ノ條項ニ依リマシテ小形船舶乘組員ニ手帳ヲ受有セシムルコト、雇傭契約ノ成立、變更等ノ場合、此ノ手帳ニ管海官廳ノ證明ヲ受ケシムルコト、手帳ノ交付申請等ノ場合必要ナル戸籍ノ證明ヲ無償ニテ受ケ得ルコト、手帳受有

者又ハ船舶所有者ノ出頭、報告ノ義務等ヲ規定シタノデアリマス、尙本要綱ノ適用ヨリ除外スベキ乘組員、本手帳ノ交付、書替返還等ノ手續、家族船員ニ準用スル細則等ニ互リマシテハ何レモ施行規則ヲ以テ規定スルヤウ致シタイト考ヘテ、其ノ根據ヲ要綱中ニ掲ゲマシタノデアリマス、尙罰則ニ關シマシテハ國民勞務手帳法、船員法等ノ例ニ依リ且小形船舶乘組員ノ實情ヲ考慮スルノ趣旨カラ案ノ如クニ定メタイト考ヘテ居ルノデアリマス、次ニ逐條説明ヲ致シマス、第一條第一項ハ小形船舶乘組員、即チ船員ノ中デ船員法ニ依ッテ船員手帳ヲ受有スベキモノ及國民勞務手帳法ニ依ッテ國民勞務手帳ヲ受有スベキモノヲ除ク殘リノモノヲシテ小形船舶乘組員手帳ヲ受有セシメムトスル趣旨デアリマス、從來小形船舶乘組員ニ付キマシテハ手帳制度ガナク、僅カニ船員法四十八條ノ規定ニ基キマシテ地方長官ノ設ケテ居リマスル所ノ規則アル以外ハ、概ネ無統制ノ儘放任セラレテ居リマスガ、海上輸送ノ重要性ニ鑑ミマシテ小形船舶乘組員ニモ手帳ヲ受有セシメ、以テ小形船舶乘組員ノ員數及配置狀況ヲ明カニシ、併セテ其ノ移動ノ防止ニ資セムトスル次第デアリマス、一ハ漁船乘組員ニ付キマシテハ總噸數三十「トン」以上ノ漁船ノ乘組員ハ船員法ニ依ル船員手帳ヲ受有シテ居リマス、總「トン」數二十「トン」以上三十「トン」未滿ノ漁船ノ運轉士ハ國民勞務手帳法ニ依ッテ國民勞務手帳ヲ受有シテ居リマス、

第四部第六類 船舶保護法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號 昭和十七年一月二十三日 貴族院

而シテ殘ル總「トシ」數二十「トシ」未滿ノ漁船ノ乘組員ニ付テハ手帳制度ガアリマセヌガ、其ノ勞務ハ著シク季節ノデアリマシテ、手帳制度ニ依ッテ之ガ勞務規制ヲ行フ必要ハナイト認メマス、從ッテ漁船乘組員ハ總テ之ヲ本案ノ適用ヨリ除外致シマシタ、三、「命令ヲ以テ定ムル」ト申シマスノハ第一項ノ船舶ニ乘組ム所ノ船員ト云ヒマシテモ船員法第一條第二項ニ掲グル所ノモノハ雇傭關係、又ハ職務等ノ特殊性ニ依リマシテ、之ニ手帳制度ヲ適用スルコトハ妥當デアリマセヌ、又例ヘバ支那ニ於ケル河川ヲ航行スル船舶ノ船員ノヤウナモノハ本案ノ目的デアリマス所ノ勞務規則ノ對象トナリマセヌカラ、之ヲシテ手帳ヲ受有セシムル必要ガナイト認メテ居リマス、仍デ是等ノ船員ヲ本案ノ適用カラ除外セムトスル次第デアリマス、第二項ハ船員法第六條第二項ニ該當スルモノデアリマシテ、即チ手帳ノ交付、訂正、書換、保管及返還等ハ之ヲ命令ヲ以テ規定セムトスルモノデアリマス、第二條第一項ハ小形船舶乘組員ヲシテ其ノ雇傭契約ノ成立、終了、更新、又ハ變更アリタルトキハ其ノ手帳ヲ管海官廳ニ提出シテ其ノ證明ヲ受ケシメムトスルモノデアリマシテ、「命令ヲ定ムル所ニ依リ」ト謂フノハ命令ニ依リ其ノ手續ヲ規定セムトスルモノデアリマス、二、雇傭契約ヲ標準ト致シマスルカラ、船員法第十八條ニ於ケルガ如ク雇入雇止ノ都度手續ヲ爲スコトヲ要シナイノデアリマス、三、本案ノ證明ヲ受ケシムルコトニ依リマシテ小形船舶乘組員ノ員數及配置狀況ヲ明カニシ、併セテ其ノ移動防止ニ資シマシテ、且給與規制、其ノ他ノ勞務規制ヲ爲スコトヲ得ル次第デアリマス、尙證明

ヲ受クルコトハ罰則ニ依リマシテ強制サレ、而シテ證明ヲ受クル爲ニハ手帳ヲ必要トシマスノデ、本條ハ國民勞務手帳法ノ第三條ノ内容ヲ間接ニ規定セムトスルモノデアリマス、四、第二項ハ家族船員等雇傭契約ニ依ラヌデ、事實上小形船舶乘組員タル者ニ關スル規定デアリマシテ、「命令ヲ定ムル所ニ依リ」ト謂フノハ、命令ニ依ッテ其ノ範圍及證明手續ヲ規定セムトスルモノデアリマス、第三條、一、手帳ノ交付申請其ノ他ノ場合ニ於キマシテ、小形船舶乘組員又ハ小形船舶乘組員タラムトスル者ノ戸籍ニ關スル證明ヲ必要トスルコトガアリマス、船員法第二條等ノ例ニ徴シマスニ、此ノ場合ニ於キマシテハ無償デ其ノ證明ヲ得シムルコトニシテ居リマス、船員法ハ勞務者保護ナル社會政策的の見地ニ基キマシテ此ノ規定ヲ置イタノデアリマシテ、海上勞務ノ統制ノ必要上、強制的ニ小形船舶乘組員ヲシテ手帳ヲ受有セシメムトスル本案ニ於テハ特ニ此ノ點ガ必要デアリマス、二、證明トハ戸籍法施行細則第三十九條ニ規定スル證明ヲ謂フノデアリマシテ、戸籍ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ無償デ受ケシムルノ意味デハアリマセヌ、第四條、船員法第四十二條ト同趣旨デアリマシテ、但シ同條中手帳制度ノ運用上必要性ノ乏シイ規定ハ之ヲ削除致シタノデアリマス、第五條、船員法第四十三條ト同趣旨デアリマシテ、船舶ノ貸借中ニハ貸賃借、使用貸借、無償貸借等一切ヲ含ンデ居リマスガ、期間傭船ハ之ニ含メテ居リマセヌ、二、船舶共有ノ場合ニ在リテ船舶管理人ヲ置キタルトキハ「ト規定シタノハ、船舶共有ノ場合ニ在リマシテモ、船舶管理人ヲ置カザル場合アルコトヲ考慮シテヤッタノデア

リマス、第六條、是ハ船員法ノ第四十五條ニ做ッタルデアリマス、二、町村制ヲ施行セザル「トハ、小笠原ノ如ク全ク町村制ナキ場合ノ外、沖繩縣ニ於ケル島嶼町村制、北海道ニ於ケル一級町村制及二級町村制ノ如キヲ謂フノデアリマス、三、神奈川縣眞鶴ノ如キ町村組合長ヲシテ、管海官廳ノ事務ヲ行ハシムル例ガアリマスガ、是ハ町村制第三百三十六條ニ依リマシテ、町村ニ關スル規定ヲ準用スルモノトシテ居リマス、コ、デ說明ヲ加ヘマスガ、船員法第四十四條ノ規定ハ小形船舶乘組員ニハ必要ガナイト考ヘテ居リマス、第七條、國民勞務手帳法第十七條ハ、陸上勞務者ノ同様ノ違反行為ニ付キ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處スル旨規定シテ居リマス、併シナガラ本案ノ對象デアリマス所ノ船員ノ生活程度ニ鑑ミマシテ、本條ニ於テハ刑罰ノ限度ヲ引下ゲルコトトシテ居リマス、尙船員法第五十條ニ於テモ同額ヲ以テ限度ト致シテ居ル次第デアリマス、二、船員法第五十條第三號ニ依リ所ノ「行使」ト云フノハ主トシテ證明ノ用ニ供スル意味デアリマスガ、從ッテ「他人ノ手帳ヲ行使」スル場合ハ本條ノ第二號ニ包含シテ居リマス、故ニ本條ニ於キマシテハ、船員法第五十條第三號ノ如キ規定ハ特ニ設ケテ居リマセヌ、尙他人ノ手帳ノ提示ニ依リマシテ、船舶所有者ヲ欺イテ、不當ニ多額ノ給與ヲ契約セシムルガ如キコトモ行使ノ一態樣デアリマスガ、斯クノ如キハ固ヨリ刑法ノ詐欺罪ニ該當スルモノデアリマス、第八條、一、船員法第六十二條第二號其ノ他ノ立法ノ例ニ做ッテ居リマス、管海官廳ノ監督權ヲ強化スル爲ノ規定デアリマシテ、二、罰金ノ限度ハ船員法ニ於ケル

ト同様デアリマス、罰金ノ外、拘留又ハ科料ニ處スル立法例モアリマスガ、拘留ニ處スルガ如キハ實際上稀デアリマシテ、之ヲ規定スル必要ガナク、又科料ハ其ノ額ガ僅少デアリマシテ、五百圓以下ノ罰金ト竝ビ規定サルベキモノデアリマセヌ、第九條、是ハ國民勞務手帳法ノ第十八條ノ第四號ト同趣旨デアリマス、第十條、第六十五條ヲ始メ、他ニ同趣旨ノ立法例ガ多ク、特ニ茲ニ舉ゲテ説明スル必要モナイト考ヘマス、第十一條、一、第一項ハ國其ノ他公共團體ノ特殊性ヲ考慮セルニ基ク規定デアリマス、例ヘバ第二條ニ規定シマシタ所ノ證明ヲ、國其ノ他公共團體ノ所有者ニ屬スル船舶ニ乘組ミマス所ノ多數ノ小形ノ船舶ノ船員ガ同時ニ必要トスル場合ニ於テ、一括シテ之ヲ受ケシムル手續ノ如キモノヲ、命令ヲ以テ定ムトスル次第デアリマス、第二項ハ船員法第六十六條其ノ他ノ立法例ニ做ッタルモノデアリマス、簡單デアリマスガ、是デ各法案ノ説明ヲ終リマス

○委員長(公爵山縣有造君) ソレデハ兩案ニ對スル御質疑ノアル方ノ御發言ヲ願ヒマス

○子爵波多野二郎君 船舶保護法其ノモノニ關聯シテデハゴザイマセヌガ、一ツ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、海務院ニハ相當海軍ノ現役軍人ガ職員トシテ入ルコトニナッテ居ルヤウデアリマス、是等職員ニ對スル人事ニ關シマシテハ、海務院長官ト海軍大臣ノ關係ハドンナコトニナルノデアリマスカ

○政府委員(澤本賴雄君) 官制ノ定ムル所ニ依ッテ、各職員ハ職ヲ執ッテ居リマス

○子爵波多野二郎君 官制ハハッキリ讀ミ

マセスノデスガ、例へバ一ツノ例ヲ取ッテ見マス、考課表調製ノ場合ノ如ク海務院長官ハ所轄長ト云フ立場ニ立タレハ譯デスカ

○政府委員(澤本賴雄君) 海軍ノ方ノ官制デゴザイマセスカ、遞信省デ何ト仰シヤイマス、其ノ點ガ海軍デ所謂所屬長官ノ位置ニ居ラレトス思ヒマス

○子爵波多野二郎君 海務院ニ奉職スル間ハ全ク海軍ト關係ガナクナルノデスカ

○政府委員(澤本賴雄君) サウデス、遞信省ノ職員デス、併シ現役デス

○大橋八郎君 此ノ船舶保護法中改正法律案ノ關係ニ付テチヨット御伺ヒ致シマス、此ノ法案ニ依リマス、第三條ノ第一項ニ規定スル職權ノ一部ヲ海務院長官ヲシテ行ハシムルコトヲ得ト、斯ウナッテ居リマスガ、第三條ノ一項ノ職權ト云ヒマス、船舶ノ設備又ハ乗組員ノ整備ニ關シ必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得、此ノコトカト思フノデアリマスガ、是ハ命令ノ定ムル所ニ依ルト云フコトガアリマスガ、大體腹案ハ決ッテ居ルノデアリマセウカ

○政府委員(澤本賴雄君) 保護令ノ施行規則ト云フモノガゴザイマシテ、其ノ中ニ大要ハ決ッテ居ルノデゴザイマス、チヨット讀ンデ見マス、海軍大臣ハ船舶保護法第三條ノ規定ニ依リ左ニ掲グル船舶ノ設備ニ付運航業者又ハ船舶所有者ニ對シ必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得、一、編隊航行設備、船舶ガ隊ヲ組ンデ歩ク爲ニハ特別ナ設備ヲ要シマス、其ノ編隊航行ノ設備、不斷ハ單獨デ歩イテ居リマスケレドモ、輸送船トシテ動ク時ニハ編隊ヲシテ歩キマス、其ノ設備デアリマス、二、見張設備、見張ノ設備、

是ハ潜水艦ニ對スル見張、或ハ航空機ヲ見張ルト云ツタヤウナ設備デゴザイマス、三、通信設備、商船ニハ特殊ナ通信設備ガ出來テ居リマセス、處方戰時ニ於キマシテハ、其ノ設備ガ非常ニ必要ナンデアリマス、商船ノ外ニ對スルモノ或ハ船内ニ對スルモノ色々ゴザイマス、四、自衛設備、サウ云フモノガ必要デアリマス、ソレカラ海員ノ方ニ付キマシテハ、船舶乗組員ニ對スル商船隊ノ運動法、通信法、自衛法其ノ他船舶保護上必要ナル教育、此ノ教育ハ若シハヤッテ居リマスケレドモ、サウ云フモノニ對スル教育ハ徹底シテ居ナイ點ガ多クアリマス、是等ニ對シテ教育ヲシマス、ソレカラ船舶乗組員所要配員ニ對スル準備、斯ウ云フ點デアリマス

○大橋八郎君 只今ノ御話ニナリマシタ點ヲ全部今度海務院長官ニ御任セニナルノデスカ

○政府委員(澤本賴雄君) サウデゴザイマス

○大橋八郎君 此ノ十條ノ二ノ規定ニ依リマス、職權ノ一部ヲ「特ニ斷テアル」ノデスガ、何カ其ノ中ニ、此ノモノハ任セナイ、此ノモノダケハ任セルト云フ區別ヲ御立デニナルカノヤウニ見エルノデスガ、其ノ點ハ如何デゴザイマス

○政府委員(保科善四郎君) 私カラ申上デマス、職權ノ一部「ト書キマシタ」ハ大體海務院長官ニ、今次官カラ御説明ノアリマシタ部分ハヤッテ貰フデアリマスガ、狀況ニ依リマシテハ或ハ船ノ種類トカ色々ナコトニ依ッテ一部取捨スルモノガアルト思ヒマス、大體ハ海務院長官ニ御任セテスルヤウニ考ヘテ居リマス

○大橋八郎君 船舶保護法ノモウ一ツノ重要ナ點ハ、第二條ノ指示ノ點ダト思ヒマス、此ノ點ハ今度ノ改正ニ依ッテハ全然海務院長官ニハ一部タリトモ御任セニナラス、斯ウ云フ御趣旨デゴザイマス、船舶保護法第二條ト第三條ガ保護法ノ骨子ニナッテ居リマスガ、其ノ中ノ第三條ノ一項ノ分ダケヲ任セル、第二條ハ全然任セナイノデアリマス

○政府委員(保科善四郎君) 第二條ハ之ヲ御任セシナイコトニシテ、第三條ト第四條ノ船舶關係ト乗組員ノ整備、ソレカラソレガウマク行ッテ居ルカドウカト云フコトヲ報告サセタリ、要スレバ臨檢検査ヲスル、第二條ノ方ハ所謂軍令事項ニ關係致シマス、航路ヲ指定スルカ、或ハ船舶保護上必要ナ適切ノ處置ヲ指示スルノデアリマス、是ハ全部海軍デヤルコトニナッテ居リマス

○大橋八郎君 今一ツ、是ハ解釋上當然ノコトデ特ニ任セル必要ガナイト云フ御解釋トモ考ヘルノデアリマスガ、第三條ノ第二項デアリマスガ、三條ノ第一項ダケガ海務院長官ヲシテ行ハシムルト、斯ウナッテ居ル、二項ノ方ハ全然觸レテ居ラナイヤウデアリマスガ、此ノ二項ヲドウ云フ風ナ書キ方ヲスレバ宜イノカ知ラスガ、何カ二項ニ付テモ其ノ職權ノ一部ヲ任セナイト運用上チヨット御困リニナルノデヤナイカト云フ

感ジガ致シタノデアリマスガ、サウ云フコトハアリマセヌデセウカ、三條ノ指示ヲ爲サムトスルトキハ關係大臣ニ海軍大臣ハ協議シロ、斯ウ云フコトガ船舶保護法第三條ノ第二項ニアルノデアリマスガ、サウシテ今度ノ此ノ改正ニ依リマス、第三條ノ

一項ノ職權ノ一部ヲ海務院長官ヲシテ行ハシムルト、斯ウナッテ居ル、其ノ海務院長官ガ行ハレル場合ニ、是ハ關係各大臣ニ協議スルニハ矢張り海軍大臣カラ御協議スルノデアリマス、或ハ海務院長官ノ方カラスルノデスカ、職權ヲ任セラレタリタカカラ協議スルコトモ當然ソツヘ移テ行クト云フ御趣旨ニナルノデアリマス

○政府委員(保科善四郎君) 第一項ノコトハ實ハ御承知ノ通り外地ノ方ハ各省ノ管轄ニ依ッテ行ハレルコトニナル譯デアリマスガ、普通所謂遞信大臣ノ管轄内ニアルモノニ付テハ今ノヤウニ御任セスル譯デアリマスガ、其ノ外ノコトニ關シマシテハ海軍大臣ガ適當ニ御話ヲシマス、又海務院ノ今度ノ官制ノ中デ外地ニ關スルコトハ大體遞信大臣ノ仕事ノ中ニ入リマシテ、サウシテ協議ノ上綜合調整ヲ取ルヤウナ工合ニナッテ居リマス、サウ云フ方カラモ此ノ運用ハウマク行クト考ヘテ居リマス

○大橋八郎君 チヨット私ノ言ヒ方ガ惡カッタカモ知レマセヌガ、第三條ノ第一項ノ權限ノ一部ヲ海務院長官ニ任サレタ場合ニ、其ノ權限ヲ施行シヨウトスル場合ニハ、海務院長官ダケデ出來ルコトモアリマセウシ、他ノ各省ニ關聯ノアルコトモアルノカト思フノデアリマスガ、其ノ場合ニ現行ノ船舶保護法デアリマス、海軍大臣ガ命令ヲ發シ又ハ指示ヲ爲サムトスル場合船舶ニハ關係各大臣ニ協議スベシト云フコトガ第二項ニ規定サレテ居ル、ソコデ海務院長官ニ是ハ任サレタ場合ニハ、其ノ協議ノ方ダケハ海軍大臣ガヤルノカソレトモ協議セズニ海務院長官ダケデヤレルノカト云フコトヲ質問シタイノデス

○政府委員(保科善四郎君) 是ハ當然海務

院長官ガ此ノ仕事ヲヤル場合ニハ、海軍大
臣ノ指揮監督ヲ受ケルコト云フ、船舶保護法
ノ實施ニ關シテ海軍大臣ノ指揮監督ヲ受ケ
ルコトニ、此ノ法律ガ通リマスレバ、當然
其ノ官制ノ一部ガ改正サレルコトニナリ
マス、海軍大臣ノ指揮監督ヲ受ケテ、必要ナ
事項ヲ海務院長官ガオヤリニナルト、斯ウ
云フコトニナル筈デアリマス

○大橋八郎君 サウ致シマス、此ノ船舶
保護法ニ關スル限リハ、海務院長官ハ海軍
大臣ノ指揮命令ヲ受ケルモノト考ヘテ宜シ
ウゴザイマスカ

○政府委員(保科善四郎君) ハア左様デゴ
ザイマス

○大橋八郎君 能ク分リマシタ、此ノ小形
船舶乗組員手帳法案モ一緒ニ質問シテ宜シ
ウゴザイマスカ

○三浦新七君 是ハ今議事ノ進行ニ付テ申上
ゲタイノデスガ、二ツノ法案ハ内容ニ於テ
サウ大シタ關係ガナイヤウナ工合ニ見エ
ルノデゴザイマスガ、片方ダケヲ片付ケテ
カラト云フ譯ニ行キマセスデセウカ、其ノ
方が却ッテ便宜デヤナイデセウカ

○委員長(公壽山縣有道君) 御諮リ致シマ
スが、ドウ致シマセウカ

○大橋八郎君 三浦サンノ仰シヤッタ通り
デ結構デゴザイマス

○委員長(公壽山縣有道君) ソレデハ船舶
保護法案ノ方ヲ先ニ處理シタイト思ヒマス、
船舶保護法中改正法律案ニ對スル御質疑ガ
ナケレバ、次ノ法案ニ移リタイト思ヒマス、
御異議ハゴザイマセスカ

○大橋八郎君 ソレデハ小形船舶乗組員手

帳法案ニ對シテ質問致シマス、從來此ノ小形
船舶乗組員ニ手帳ヲ交付シテナカッタ理由
ハドウ云フ理由デアリマスカ、最初ニ其ノ
コトヲ伺ヒマス

○政府委員(原清君) 今迄大體平時ノ行政
法ニ於キマシテ、是マデ手ヲ廻シテヤルダ
ケノ必要モナシ、ソレカラサウ云フ面倒ノ
コトヲヤルコトヲ要シナカッタノデアリマ
ス、併シナガラ今度大東亞戰爭ノ戰時下ニ
於キマシテハ、勞務力ト云フノガ非常ニ貴
重ノ資源ニナリマシタノデ、結局平時ニ於
テハ考ヘナカッタモノ迄モ規制ヲシテ、サウ
シテ適正ナル配置及移動ヲ防止スルト云フ
必要ガ起ッテ來タノデアリマス、此ノ點ニ於
キマシテハ國民勞務手帳法ガ戰時下ニ規定
サレタト同ジヤウナ關係デアリマシテ、モ
ウ少シ早ク整備スルモノガ本當カト思ヒマ
スガ、大體船員ガ非常ニ貴重ニナッテ來タ
ツ云フ意味ニ於キマシテ、此ノ資源ノ分布狀
況ヲ此ノ際急速ニ整備シテ、勞務行政ヲヤ
リタイト云フ意味ニ於テ提案シタ次第デゴ
ザイマス

○大橋八郎君 第二條第一項ニ依リマス、
小形船舶乗組員ハ其ノ雇傭契約ノ成立其ノ
他ノ場合ニ、手帳ヲ管海官廳ニ提出シテ、其
ノ證明ヲ受ケルコト云フコトニナッテ居リマ
スガ、船員法ノ規定ニ依リマス、一般船
員ニ付テハ公認ト云フ制度ガアルヤウデゴ
ザイマスガ、此ノ船員法ノ公認ト云フコト
ト、此ノ度ノ小形船舶乗組員手帳法ノ證明
ト云フモノハ、内容ガ違フノデアリマス
カ、ソレトモ性質モ或ハ其ノ他違フ點ガ多
イヲノデゴザイマスカ、ソレトモ同ジモノヲ
名前ガ變ッテ居ルト云フダケノモノデゴザ
イマスカ

○政府委員(安田丈助君) 只今ノ御質問ニ
御答ヲ申上ゲマス、御承知ノ通り船員法ノ
十八條ノ公認制度ハ、雇傭契約ノ成立、訂
正又ハ變更ナドノ場合ニ、管海官廳ニ雇傭
主其ノ他被傭者、ソレ等ガ揃ッテ参リマシ
テ、ソレデ管海官廳ノ前デ其ノ雇傭契約ノ
内容ナドヲ讀ミ聞カセマシテ、是デ宜イカ
ト云フヤウナ、一種海員ニ對スル保護ノ關
係モアッタノデアリマスガ、是ハ雇傭契約ノ
途中ニ於キマシテ、船ガ變ルコトガアリマ
ス、船員ノ乗ッテ居ル船ガ變ルコトガアリマ
ス、サウ云フコトニモ色々關係ヲ持ッテ居ル
ノデアリマスガ、今度ノ證明ハサウ云フ雇
傭契約ノ内容迄ニ入リマシテ、一々其ノ雇
傭契約ノ成立ガ、雇傭契約ノ内容ガ妥當デ
アルトカドウトカ云フコトヲ見ルノデハ
ナクシテ、寧ろ大體ノ見當ハ日本ニサウ云
フヤウナ小形ノ船舶ノ乗組員ノ員數ハドノ
位アルカ、サウシテ現在デハドウ云フヤウ
ナ配置狀況ニアルカト云フコトヲ調査致シ
マシテ、サウシテソレニ依リマシテ、船員
ノ人的資源ノ確保ヲシヨウト云フコトヲ狙ッ
テ居リマスノデ、聊カ雇傭契約ト船員法ノ
公認トハ趣ヲ異ニシテ居リマス、サウ云フ
ヤウナ關係デ茲ニ小形船員手帳法ノ方デハ
特ニ簡單ナ證明ト云フ制度ヲ取ッタ次第デ
アリマス

○大橋八郎君 此ノ第一條ノ第二號ニ「總噸
數五噸以上ノ端舟及櫓權ヲ以テ運轉スル舟」
トアリマスガ、是ハ總噸數五噸以上ノト云
フノハ「ボート」ニ係ルノデスカ、又ハ櫓權
ヲ以テ運轉スル舟ト云フ所迄係ッテ是ハ讀
ムノデスカ

○政府委員(安田丈助君) 是ハ兩方ニ係ル
關係ニアリマス

○大橋八郎君 船員法ノ第何條デアリマシ
タカ、一般ノ船員法ノ適用ヲ除外セラレデ
居ル規定ノ中ニ、「櫓權ノミヲ以テ運轉シ」
「又ハ主トシテ櫓權ヲ以テ運轉スル舟」云々
ト云フコトガアリマシタガ、今度ノ第一條
ノ第二號ハ、「櫓權ヲ以テ運轉スル舟」ト云
フ風ニ書キ方ガ變ッテ居ルヤウデアリマス
ガ、是ハ其ノ趣旨トハ少シ違フノデアリマ
スカ、船員法ノ十六條デシタカ、何條デシ
タカ……

○政府委員(若林清作君) 船員法ノ第一條
ノ方ニ入ッテ居リマスガ、ソレニハ、櫓權ヲ
以テ云々ト云フ條項ガ入ッテ居ラナイノデ
アリマス、第一號、第二號、第三號トシテ
アリマスガ、之ニハ、「船員法第二十條ニ
規定スル船舶」ソレカラ第二號ハ「平水區
域ヲ航行スル船舶」、第三號ハ、「總噸數三
十噸未滿ノ漁船」ト、斯ウ船員法ニ規定シ
テアリマス

○大橋八郎君 船舶法ノ適用ヲ除外シテ居
ル方ノ規定デスカ、櫓權運轉ト云フノ
ハ……

○政府委員(安田丈助君) サウデス

○大橋八郎君 サウ致シマス、第一條ノ
第一項第二號、「櫓權ヲ以テ運轉スル舟」ト
云フノハ、「櫓權ノミヲ以テ運轉スル舟」若
シクハ「主トシテ櫓權ヲ以テ運轉スル舟」ト
云フノト矢張り意味ガ違ッテ、櫓ノ權ヲ備ヘ
テサヘ居レバ總テ是ガ適用ガアルト云フノ
デスカ

○政府委員(安田丈助君) 只今大橋委員ノ
仰シヤイマスヤウニ、此ノ法案デハ小分ケ
ニ致シテ居リマセヌノデ、苟モ櫓權ヲ以テ
運轉スルト云ヘバ、主トシテ櫓權ヲ以テ運
轉スルノミデナクモ入ル、斯ウ云フヤウ

○政府委員(安田丈助君) 只今大橋委員ノ
仰シヤイマスヤウニ、此ノ法案デハ小分ケ
ニ致シテ居リマセヌノデ、苟モ櫓權ヲ以テ
運轉スルト云ヘバ、主トシテ櫓權ヲ以テ運
轉スルノミデナクモ入ル、斯ウ云フヤウ

○政府委員(安田丈助君) 是ハ兩方ニ係ル
關係ニアリマス

ニ解釋サレルヤウナ嫌ヒガアリマスケレドモ、實際ノ此ノ趣旨ト致シマシテハ、櫓權ヲ以テ主トシテ運轉スルト云フモノヲ中心トシテ書イテ居リマスモノデ、他ノ船舶ノヤウナ色々ノ推進力ト云フモノガ之ニ加リマシテ、櫓權ヲ以テ運轉スル舟ト社會的觀念ヲ認メラレナイヤウニ至リマスレバ、ソレハ此處ニハ含マナイ積リデ居リマス

○大橋八郎君 第七條ノ罰則ノ規定デアリマスガ、此ノ罰則ノ第一號ニハ「詐欺其ノ他ノ不正行爲ヲ以テ小形船舶乗組員手帳ノ交付ヲ受ケタル者」ト、交付ノ點ダケ今舉ッテ居リマスガ、船員法ノ方ノ罰則ニ依ルト、交付、訂正、書換等モ罰セラレテ居リマスガ此ノ場合ニハ此ノ交付ダケヲ罰シテ、訂正又ハ書換等ノ方ハ罰シナイ趣旨デアリマス

○政府委員(安田丈助君) 大體左様デゴザイマス

○大橋八郎君 訂正、書換ノ方ハ罰シナイト云フノハ、ドウ云フ理由ニ基クノデスカ、其ノ理由ヲ承リタイ

○政府委員(安田丈助君) 大體此ノ小形船舶乗組員手帳法案ノ對象トナリマスル船舶ナリ其ノ乗組員ナリト云フモノハ、從前ハ殆ド法律的訓練ヲ受ケテ居ラナイノデアリマシテ、船員法ノ適用ヲ受ケテ居リマスル總噸數二十噸以上ノ船舶又ハ其ノ乗組員ナドト同様ノ程度ニ巨細ニ互ッテ色々規定ヲ致シマスルコトガ不適當ト思ヒマシテ、而モ此ノ船員手帳法案ノ趣旨ト云フモノガ、是等ノ小形船舶乗組員ノ、先程モ申上ゲマシタヤウナ員數ノ大體ノ狀況トカ、又ハ其ノ配置狀況ガドウナッテ居ルカ、斯ウ云フ點ヲ考ヘテ居リマスルモノデ、サウ云フ法

律的訓練ノ今迄非常ニ稀薄ナ、斯様ナ船舶ノ乗組員ニ付キマシテハ、大綱ヲ把握スルト云フ程度ニ止メルト云フ趣旨デゴザイマス

○大橋八郎君 ソレカラ先程七條ノ逐條説明ノ際ニ御説明ガアッタヤウデアリマスガ、チヨット聞キ洩シマシタノデモウ一度御伺ヒシタイノデスカ、船員法ノ方ノ船員手帳ノ場合ニハ、他人ノ船員手帳ヲ行使シタ者ハ罰セラレテ居ルガ、此ノ場合ニハ此ノ罰則ノ中ニ見エナイヤウデスカ、ソレヲ此ノ場合ニ掲ゲナカッタ理由ハ、先程御説明ガアッタヤウデアリマスガ、チヨット聞キ洩シマシタノデ伺ヒマス

○政府委員(原清君) 他人ノ手帳ヲ行使スル場合ハ本條第二號ニ包含セラレテ居リマス、故ニ本條ニ於キマシテハ、船員法五十條第三號ノ如キ規定ヲ特ニ設ケテ居ルト云フコトヲ御説明シタ譯デゴザイマス

○大橋八郎君 サウ致シマス、二號ノ中ニ包含スルト云ヒマス、第二條ノ規定ニ違反シ證明ヲ受ケザル者、之ニ該當スルト云フ御趣旨ニナル譯デスカ

○三浦新七君 今度ノ此ノ手帳法ニ依リマス、相當多人數ノ船ニ關係アル者ガ手帳ヲ貰ハナケレバナラスト云フコトニナル譯ナンデアリマスガ、此ノ中ニハ大分色々種類ノ者ガ包含サレテ居ッテ、第二條ノ「其ノ雇傭契約ノ成立、終了、更新又ハ變更アリタルトキ」云々ト云フ雇傭契約ト云フヤウナモノガ請負制度ノヤウナ工合ニナッテ居ッテ、何カ特別ノ時期ニ於テ其ノ貨物ヲ運搬スルト云フ時ニ船ニ乗組ムト云フヤウナ者ガ多分現實ニ於テアルト思フノデアリマスカ、サウ云フヤウナ者デモ矢張り一々證明

書ヲ貰ハナケレバナラス、斯ウ云フコトニナルノデスカ、チヨット言葉ガ足りマセスカモ知レマセスガ、或貨物ヲ運搬スル時ニ、其ノ乗組員ガ必ズ一人ノ船主、若シクハ其ノ船主ニ專屬シテ居ラスノミナラズソレガ雇傭デハアリマスケレドモ、請負制度カ何カ運搬シテ居ル、此ノ品物ヲ運シテ幾ラト云フヤウナ工合ニヤッテ居ルモノガアルヤウナンデアリマス、サウ云フヤウナモノハ別ニ雇傭契約ガ成立シタト云フヤウニハ見ナイ、從テ第二條ノ規定ノ適用ヲ受ケナクテモ宜イト見デ宜シウゴザイマス

○政府委員(安田丈助君) 御説ノ通りデアリマス、大體此ノ小形船舶乗組員手帳法案ハ雇傭契約ト云フモノヲ中心トシテ參リマス關係上、雇傭契約ト法律上解釋出來ナイ場合ニハ包含出來ナイ關係ニナッテ居リマス

○三浦新七君 サウスルトサウ云フヤウナモノハ詰リ此ノ雇傭契約ノ變更ト云フヤウナコトニ付テ取締ヲシタイト云フ、其ノ取締ノ範圍外ニ屬スルモノト見テ宜シウゴザイマス、茲ニ此ノ資料ニ付テ……資料ヲ御配リニナッタモノノ中デハ大部變更ガアル、高等船員ニ付テハ五十パーセント以上ノ變更ガアルヤウナ、サウ云フ譯デアリマスガ、此ノ方ハ只今私ガ申上ゲマシタヤウナ場合ハ、是ハ雇傭契約デモ何デモナイ譯デアリマスガ、サウ云フヤウナモノハ先ヅ仕方ガナイ、放任シテ置クト云フ御方針デゴザイマス

○政府委員(安田丈助君) 大體御趣旨ノ通りデゴザイマス、尙詳シクモウ少シ御話申上ゲマス、今度ノ小形船舶乗組員手帳法案デハ第一條ニゴザイマス通り、總ト「數大體五トシ」以上ノ所ヲ擱ンデ、サ

ウシテソレ等ノ乗組員ノ狀況ヲ擱マウ、斯ウ云フヤウナ趣旨デゴザイマシテ、此ノ五「トシ」以下ノ船ト云フモノハ大體御説ノ通りノヤウナ關係デ雇傭契約デナイ、請負契約、請負的ニナス仕事ニ携ハッテ居ルノデアリマシテ、是等ノ總「トシ」數五「トシ」以下ノモノハ包含セシメナイモノモ大體御説ノ通りデアリマスガ、五「トシ」以上二十「トシ」未滿ノ船舶ノ乗組員ニ付キマシテハ大體私共ノ見ル所デハ法律上所謂雇傭契約ヲ締結シテ船舶ニ乗組ンデ居ルト云フ狀況ニアルト思ヒマス、但シ漁船等ノ關係ニ於キマシテハ非常ニ仕事ガ季節的デアリマスノデ、是等ノ狀況ヲ一々手帳ノ交付ニ依ッテ擱ムノハ不適當デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、大體五「トシ」以上二十「トシ」未滿ノ船舶乗組員ニ付テハ雇傭契約ガ大體成立シテ居ルモノノ數ガ多イ、斯ウ云フヤウナ見透シヲシテ居ル次第デアリマス

○三浦新七君 ソレカラ大部多人數ノモノニ此ノ法律ノ適用ガアル譯デアラウト思フノデアリマスガ、其ノ中ニハハッキリ申上ゲル譯ニハ行キマセスガ、陸上ノ住所ト云フモノガ定ッテ居ラスモノガドウ位アリマスカ、大分入ッテ居ラダウト思ヒマスガ、サウ云フヤウナモノニ、此ノ第四條ノ「必要アリト認ムルトキハ船舶所有者又ハ小形船舶乗組員手帳ノ交付ヲ受ケタル者ニ出頭ヲ求メ又ハ其ノ者ヨリ報告ヲ徴スルコトヲ得」此ノ規定ヲ適用シテ其ノ者ガ適當ナ時ニ出テ來ナカッタ場合ニハ罰則ヲ以テ處罰スルト云フヤウナコトニナリマス、相當ハ困ツコトガ起ラダウト思フノデアリマスガ、ソレニ付テ此ノ通知ノ方法、當人ニ知ラセルト云フ方法ニ付テハドウ云フ工合

ニ御考ニナッテ居ルノデアリマスカ

○政府委員(安田丈助君) 只今ノ出頭又ハ報告ヲ求メラレタ當人ノ所在不明ト云フヤウナ場合ニ於テハ、管海官廳ト致シマシテモ、サウ云フモノニ對シテ直チニ出頭ガナカッタノダト云フヤウニハ認メズニ、出來得ル限り其ノ所在ヲ突止メテ、サウシテヤラウト思ッテ居リマスカ、御説ノ通り此ノ點ハ十分ニ所在ヲ判明サセル實際上ノ方法ニ付テ考慮ヲ加ヘタイト考ヘテ居リマスカ

○三浦新七君 サウシマスト、今ノ第四條ノ管海官廳必要アリト認ムルトキト云フヤウナコトハ凡ソドンナ場合デゴザイマセウカ、ドウ云フヤウナ御考デ出頭ヲ命ズルト云フヤウナ場合ガ起ッテ參リマセウカ

○政府委員(安田丈助君) 是ハ船員乗組員手帳ヲ省令決メマスカ、其ノ内容ニ書イテアリマス例ヘバ年齢トカ、住所トカ、ソレカラドノ位今迄乗ッテ居ッタカ、サウ云フヤウナコトヲ一々調ベマスカ時ニ本人ノ出頭ヲ求メル、斯様ニ考ヘテ居リマスカ

○三浦新七君 今ノ御話ダト詰リ手帳ヲ貰フ時ダケ必要デアッテ、其ノ以外ニハ大シタ必要ハナイト云フ御見込デゴザイマスカ、手帳ヲ貰フ時デセウ、今ノハ……

○政府委員(安田丈助君) 私ノ申上ダタノハサウ云フヤウナ意味デハナイノデアリマシテ、サウ云フヤウナ場合ノ外ニモ、例ヘバ今度ノ手帳法案ノ目的トスル所ガ是等ノ乗組員ノ員數並ニ其ノ所在、配置狀況ヲ明カニシマシテ、サウシテ其ノ他ノ二十「ト」以上ノ船舶ナドノ方ニモ人的資源ト致シマシテ是等ノ者ヲ供給シヨウト云フコトモ考ヘテ居リマスカ、サウ云フ場合ニ色々サウ云フ方面ヘ此ノ船員ヲ配置替フスルト

云フヤウナ場合モ起ッテ來ルトモ考ヘラレマスノデ、サウ云フ時ニサウ云フ乗組員ノ配置替フサレテモ、色々ノ生活狀況トカ、其ノ他ノ家族ノ狀況トカニ依ッテ差支ナイカタ云フヤウナコトモ必要アル場合ニハ調ベナケレバナリマセヌノデ、サウ云フ時ニ出頭ヲ求メルコトモアルカト、斯様ニ考ヘテ居リマスカ

○三浦新七君 ソレカラ第八條ト九條ノ問題ハ如何ニナルノデゴザイマスカ、片方ノ出頭ヲシナカッタ者モ處罰ヲ受ケルシ、ソレカラ雇ッタク者モ同時ニ處罰ヲ受ケルコトニナルノデゴザイマスカ

○政府委員(安田丈助君) 左様デゴザイマスカ

○三浦新七君 ソレハ船舶所有者ト云フモノニハドウ云フヤウナ責任ガアルノデソレノ處罰ヲ受ケルコトニナルノデゴザイマスカ、詰リ手帳ヲ持ッテ居ナカッタモノヲ雇ッタトカ、其ノ變更ヲ證明ヲ得ナカッタト云フコトニ付テノ責任ガアルノデセウカ、出頭ニ應ジナカッタ、報告ヲ怠ッテ居ル、虚偽ノ報告ヲシタト云フヤウナコトニ付テハ責任ハナイノデゴザイマスカ、船舶所有者ノ方ハ如何デゴザイマスカ

○政府委員(安田丈助君) 此ノ小形船舶ノ乗組員ノ如キハ大體先程申上ダマシタヤウニ、法律の訓練モアリマセヌノデ、是等ノ雇傭者トノ間ノ關係ガ大形船等ト違ヒマシテ、非常ニ上下ノ關係ガ緊密、親密ト申シマスカ、親分乾分ト申シマスカ、サウ云フヤウナ關係ニアリマスカ、大體ハ斯ウ云フ傭傭者ノ非常ナ庇護ト申シマスカ、サウ云フ傘下ニ隠ハレテ居ルト云フヤウナ狀態ガアリマスカ、ソレヲ大體認メマシテ、

此ノ船舶所有者ナドニ付テモ斯ウ云フ自分ノ傭傭テ居リマスカ者ノ出頭其ノ他サウ云フヤウナコトニ付テノ責任ヲ持タシテ、サウシテソレノ小形乗組員ノ色々ノ法律の訓練ノ缺ケテ居ルコトカラ出テ來ル結果ヲ船舶所有者ノ方ヘモ責任ヲ負ハセル方ガ宜カラウ、斯ウ云フ關係カラ致シマシテ、第九條ヲ設ケタノデゴザイマシテ、此ノ點ハ大體御承知デハゴザイマセウガ、國民勞務手帳ノ方デモ第十八條ニ於テ同様ノ規定ヲ設ケテ、法律の訓練ノナイ者ノ行為ニ依ッテ、色々法律違反ガ出ルコトヲ、其ノ雇傭者ノ方面ニモ注意ヲ喚起サシテ、相俟ッテ法律違反ノナイヤウニシヨウ、斯ウ云フ趣旨デアリマスカ

○三浦新七君 今ノ工場ニ居ルトカナントカ、若シクハ其ノ仕事場ニ使ッテ居ルト云フヤウナ者デアリマスカ、是ハ今ノ御話モ至極御尤ダト思フノデアリマスカ、殊ニ船先ノサウ云フモノハ適用ガナイト仰シヤッタノデスカラ、何デスカレドモ、兎ニ角請負仕事ガ相當強クナッテ居ル、傭人ノ形ニナッテ居ル者デモ、請負ノ制度ガ大分アルヤウニ聞イテ居ル譯ナンデアリマスカ、サウ云フヤウナ者ニ對シテ、ソレハ銘々ノ傭人ト云フモノハ比較的獨立シタ關係ニアル場合モアルノデス、今御話ノ如クニ親分乾分ノ關係ニナッテ居ッテ、家ニ寢泊リシテ居ルト云フヤウナ者モアルノデアリマセウガ、サウスルトサウ云フヤウナ者ニ付テ、出頭ヲ命ズルト云フヤウナコトガ船主ノ方ニ通知ガ行ク譯ナンデゴザイマスカ、ドウシテ船主ノ方ガソレヲ知り得ルコトニナルノデスカ

○政府委員(安田丈助君) 御説ノ通り船主ノ方ニハ參リマセヌノデ、本人ノ方ニ參リマスカ、サウ云フ關係ニ付キマシテハ、實

際船主ノ方ニ對シテ非常ニ氣ノ毒ナ關係モ出テ來ルト存ジマスルケレドモ、先程申シマシタヤウニ、是等ノ小形船舶ノ乗組員ノ訓練ノ足リナイ所ヲ、斯ウ云フ船主ノ方面ニモ出來得ル限り注意ヲ喚起シテ貰フト云フヤウナ趣旨ヲ執リマシタノデ、此ノ法律ガ實施セラレマシタ曉ニハ、サウ云フヤウナ點ニ付テモ十分ニ雇傭主ノ方面ニ色々通牒ナリ致シマシテ、サウシテ今迄訓練ノナカッタ斯クノ如キ方面ノ船主、船員ナドニ付テ、指導ヲシテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマスカ

○三浦新七君 是ハ何カ取締ノ施行方法トカ何トカ云フ命令ガ出ルノカ出ナイノカ存ジマセヌデスカ、若シサウ云フモノガ出ル場合ニ於テハ、何トカ其ノ通知ヲ受ケル場所若シクハ其ノ人ノ所在地ガ何處カ判然フルト云フヤウナ、組合ノヤウナ機關ヲ設ケルト云フヤウナコトデナイト困リハシナイカト思フノデアリマスカ、サウ云フヤウナ御意思ハゴザイマスカ

○政府委員(安田丈助君) 此ノ手帳法ガ出マスト同時ニ、大體國民勞務手帳法ニ準ジマシテ、施行令若ハ施行規則ノヤウナモノヲ出シマシテ、サウシテサウ云フ細カイトハ處生シテ行キタイ、斯様ニ今ノ所デハ考ヘテ居リマスカ

○三浦新七君 其ノ時成ルベク、斯ウ云フヤウナモノハ、今迄御話ガゴザイマシタヤウニ、非常ニ訓練ノナイモノデアリマスカ、サウ云フヤウナモノガ急激ニ斯ウ云フ法律ヲ施行サレルト云フコトニ依ッテ、想ハザル處罰ヲ受ケルト云フヤウナコトノナイヤウニ、一ツ十分ノ御注意ヲ御願ヒシタイト思ヒマスカ

○政府委員(若林清作君) 御意見ノ點ハ御趣旨ヲ十分採入レテ作リタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○子爵波多野二郎君 此ノ小形船舶ト云フ種類ノ船ハ、一家族乘リマシテ運航ニ從事スルト云フヤウナモノガ相當澤山アルダラウト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニ命令ヲ以テ定メル船舶ト云フノハ、其ノ船ノ家長ナリ、或ハ戶主ト云フモノニ限ルノデアリマスカ、或ハ其ノ家族モ矢張り手帳ヲ受ケナケレバナラスト云フコトニナルノデアリマスカ

○政府委員(若林清作君) サウ云フ風ナ關係ノ場合ハ、其ノ家族モ矢張り持つト云フコトニナッテ居ル次第デアリマス

○子爵波多野二郎君 年齢ノ如何ニ拘ラズデスカ

○政府委員(若林清作君) 是ハ年齢ノ方ハ船舶法ノ制限ガアリマスカラ、アレニ依ッテ矢張り處置サレ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○三浦新七君 第十一條ニ此ノ地方團體ノ所有ニ係ル船、ソレノ乗組員ニ付テハ例外例ヲ設ケルト云フヤウナコトガアリマスガ、「別段ノ定ヲ爲スコトヲ得」是ハ凡ソドウ云フヤウナ工合ニナル譯デアリマス

○政府委員(安田丈助君) 是ハ斯ウ云フ國其ノ他公共團體ノ特殊性ヲ考慮シマシテ、一括シテ手帳ヲ交付スル等ノコトヲ狙ッテ居リマス

○三浦新七君 此ノ法案ト少シ縁ガ遠クナルカモ知レマセデスカ、此ノ資料トシテ下スタモノノ中ニ轉職船舶員推定員數調ト云フモノガアリマス、普通船舶員ノ方ハ、高級船舶員デモ同ジデゴザイマスガ、隨分轉職

率ガ多イノデアリマスガ、此ノ轉職ト云フノハ船ヲ變ヘルト云フ場合ナンデゴザイマスカ、五頁ノ所ニ大分大キナ數字ガ書イテゴザイマスガ、斯ウ云フ數字ガアリマス、從ッテ今ノ一纏メニシテ手帳ヲ渡スト云フヤウナコトハ是ハ困ルコトニナリハシマセスカ

○政府委員(安田丈助君) 失禮デゴザイマスカ、モウ一遍……

○三浦新七君 一番先ノ問題ハ、資料ノ五「ページ」ノ所ニ書イテアリマスモノニ解僱總員數トアリ、内轉職ノ員數……、轉職ト云フモノガ、半分以上轉職シテ居ル譯デゴザイマスガ、轉職ト云フモノハ船舶員デナクナルト云フ譯デゴザイマス

○政府委員(安田丈助君) サウデゴザイマスカ

○三浦新七君 サウスルト解僱總員數ト云フモノト、ソレカラ此ノ船舶員ノ割合ハ分リマセスノデスカ

○政府委員(安田丈助君) 是ニハ出テ居リマセスカ……

○三浦新七君 ドノ位ニナッテ居リマスカ、相當アルノデゴザイマスガ、御調ガナケレバ宜シウゴザイマス、詰リ解僱ト云フモノガ外ノ船ニ行クコトニナッテ居ルノカ、若シクハ……

○政府委員(安田丈助君) 只今數字ガゴザイマセスノデ……

○政府委員(安田丈助君) 大體今日所謂船舶法ノ適用ヲ受ケテ居リマスル船舶員ノ中デ、現ニ乗組ンデ居リマスル船舶員ハ——デゴザイマス、會テ船舶員タリシ者ヲ含メマシテ、所謂船舶員手帳ヲ持つテ居ル者ハ約——居ルト云フコトニナッテ居リマス、但シ其ノ——ト申シマスノハ、會テ船舶員タリシ者モ含ンデ居リマスルノデ、是等ノ者ハ、唯私共ノ方デハ今後船舶乗組員トシテ雇傭シ得ル限度ハドノ位ノモノデアルカト云フ意味合ヲ有ッタ數字デゴザイマス

○三浦新七君 今度ノ小型ノ方ノモノモ此ノ割合デゴザイマス、——ノ内解僱總員數ガ約——デアリマスカラ、七分シカナッテ居リマセスカ、其ノ位ノ御見込デゴザイマスカ、雇傭契約ヲ更新スルト云フヤウナ場合……是ハ雇傭契約ノ更新ト謂ッテハ惡イノデセウケレドモ、外ノ船ニ變ルト云フ者ヲ含シテ居ルノデゴザイマセウ、解僱ト云フモノハ……デ非常ニ變更率ガ少イ譯デスカ、外ノ職業ニ比ベテ、今度ノ此ノ法律ノ適用ヲ受ケル小型船ニ付テモ矢張り斯ウ關係ガアリサウニ御考ヘナンデゴザイマスカ、詰リ變更ト云フモノハサウ起ラスト云フ御見込デゴザイマス

○政府委員(安田丈助君) 此ノ小形船舶ノ乗組員ニ付キマシテハ、在來ノ統計デハ色色統計ヲ出スベキ條件ニ付テハハキリマダ確信ヲ得テ居リマセウケレドモ、大體今度ノ小形船舶乗組員ノ手帳ヲ交付サルベキ對象ハ——ト斯様ニ考ヘテ居リマス、但シ是ハ推定デゴザイマスルノデ、ハッキリシタ數字トハ申兼ネルノデアリマス

○三浦新七君 今私ノ求メタ所、其ノ——ノ中デ、コト細カイヤツガ色々手續シテ證明ヲ貰ッカリシナケレバナラス、手帳ニ書イテ貰フ度數ガ非常ニ多イモノデアラウガ、少クテ濟ムダラウカト云フ、見當ナノデスカ、雇傭契約ノ更新、變更デスカ、外ノ船ニ行クトカト云フヤウナ時ハ何時モ手數ヲ要スル、從ッテ細カイ、斯ウ云フ訓練ヲ受ケナイ者ガ相當面倒ナコトヲシナケレバナラス、其ノ度數ガ現實ノ狀態トシテ餘リ多クナイ、斯ウ云フ御見込ナンデスカ

○政府委員(若林清作君) 在來ノ二十「ト」以上ニ對シテハ相當ニ移動ガアリマシタノデスカ、二十「ト」以下ニ對シテハ大體地方的ノ關係モ入リマスノデ、此ノ方ガ見込デハ二十「ト」以上ノモノニ比シテ少イノデナイカト云フ氣持デ居ルノデアリマス、併シ是ハ事實ニ於テハ地方的ニ偏シテ居ル關係デ雇傭關係ガウマク行ッテ居ルノデヤナイカト云フ氣持モアルノデアリマスガ、ハッキリシタコトハ申サレマセスカ、サウ云フ風ニ見當ヲ付ケテ居リマス

○委員長(公山縣有道君) 他ニ御發言ゴザイマセスカ、大體御質疑モ終ッタクヤウニ存ジマスノデ、御質疑ハ此ノ程度ニ止メマシテ、最初ニ船舶保護法中改正法律案ノ討論ニ入りタイト存ジマスガ、御異議ゴザイマセスカ

○委員長(公山縣有道君) 別ニ御異議ガゴザイマセスカレバ直チニ本案ノ採決ヲ致シタイト存ジマス、別ニ御發言ガナケレバ本案ヲ可決致シマスモノト決定致シマス

○委員長(公山縣有道君) ソレデハ船舶保護法中改正法律案ハ之ヲ以テ可決致シマシタ、次ニ小形船舶乗組員手帳法案ノ討論

ニ入リタイト存ジマス

○三浦新七君 此ノ法律ハ時世ノ必要ニ應ジ、至極當ヲ得タ是非ヤラナクテハナラス法案デアルト思フノデアリマシテ、賛成ハ致シマスガ、先程カラ色々御聴キ申シテ居リマス通り、相當訓練ヲ經ナイ多數ノ者ヲ扱ヒマス仕事ナンデゴザイマスカラ、ソレニ付テ十分ノ御注意ヲ御願ヒシテ、此ノ本當ニ惡意ナクテ處罰ヲ受ケルト云フヤウナコトガ全然ナイト云フ位迄ニ一ツ御注意ヲ戴イテ御指導ヲ願ヒタイト云フ希望ヲ以テ本案ニ賛成致シマス

○委員長(公爵山縣有道君) 別ニ御發言ガナケレバ本案モ可決致スベキモノト決定ヲ致シマス、之ヲ以テ兩案ヲ可決致シマシタ、本委員會ハ之ヲ以テ散會致シマス

午前十一時三十九分散會

出席者左ノ如シ

- 委員長 公爵山縣 有道君
- 副委員長 子爵立花 種忠君
- 委員

- 子爵波多野二郎君
- 大橋 八郎君
- 男爵中村 謙一君
- 三浦 新七君
- 熊谷三太郎君
- 小野 耕一君

國務大臣

- 遞信大臣 寺島 健君

政府委員

- 海軍次官 澤本 賴雄君
- 海軍少將 保科善四郎君
- 遞信次官 手島 榮君
- 海務院長官 原 清君

- 海務院次官 安田 丈助君
- 海務院部長 若林 清作君